



はるか彼方の銀河を見よう！
月のある日はスマホで月撮影も！



星空観察会のご案内

本日は国民宿舎小豆島をご利用いただき、まことにありがとうございます。

当館では、本館3階屋上において、午後??時??分から午後??時??分頃まで、移動用としては大型の天体望遠鏡を使った星空観察会を開催します。

春は空が霞んだような日が多いですが、これから風も弱まり、日々暖かくなって、星空観察に適した季節になります。

また春は天の川がないので、地味な系外銀河などが中心になりますが、有名なオリオン大星雲など、冬の星雲・星団もまだまだ見ることができる季節でもあります。

月が出ている夜は月もご覧いただけますが、双眼装置を使って両目で見る月のクレーターや山脈は大迫力で眼前に迫ってきます。半月から満月の間は、スマホ限定とさせていただきますが、クレーターもはっきり写る写真を撮るサービスも行っていますし、運が良ければ流れ星も見られるかも？大勢の方のご参加をお待ちしております。

ご覧いただく予定の天体

系外銀河

右はおおぐま座の M81、M82 銀河です。天体望遠鏡では大小二つの銀河がカタカナのハの字に並んでいるのを見ることができます。系外銀河は、眼視では単なる光のシミみたいなものですが、その本当の大きさや距離などの知識があればこれほど興味深いものではありません。星空観察会ではこのほか、有名な子持ち銀河 M51 やソンプレロ銀河 M104 などを見ていただく予定です。



星雲・星団

星雲には私たちの銀河系と同じく数百億～数千億の星の集まりである系外銀河と、ガスが星の光によって照らされている散光星雲、星が爆発した後の姿である惑星状星雲の3種類があります。それぞれ大変淡い光であり、光を蓄積した天体写真とは比べるべくもありませんが、数千光年(1光年は約10兆キロ)から遠いものは数千万光年先にある天体を直接肉眼で見ることにまた別の趣があります。今回は、1200 万光年先の銀河であるおおぐま座 M81・M82 銀河などの銀河や太陽のふるさとともいわれるかに座 M67 などの散開星団、無数の星がボール状に集まったりうけん座 M3 などをご覧いただけます。目を暗闇に十分慣らしてから見ると、まるで万華鏡のように無数の星が瞬くのが見え、宇宙の神秘を感じさせてくれます。小豆島の星空をぜひお持ち帰りください。